

記者発表資料
平成23年8月5日
畜産課（草地飼料班）
担当 伊藤，及川，四ノ宮
内線 2852

宮城県内の粗飼料の放射性物質測定結果について

東北大学の協力により、粗飼料（牧草，飼料用とうもろこし，発酵粗飼料用イネ）の放射性物質の測定結果がでましたので，お知らせします。

1 牧草について

牧草の放射性物質を測定したところ，栗原市の1地点で暫定許容値を上回っていることが確認されました。下記の自粛要請継続地域においては，引き続き牧草の給与及び放牧の自粛を継続しています。

今後の対応としては，牧草の生育状況を見ながら調査を継続するとともに，自粛要請継続地域においては，その調査結果を踏まえ自粛要請の解除を検討します。

自粛要請継続地域

栗原市栗駒の一部（栗駒地区，岩ヶ崎地区，鳥矢崎地区中野・鳥沢，
文字地区，尾松地区稲屋敷）

2 牧草以外の粗飼料（飼料用とうもろこし，発酵粗飼料用イネ）について

これから収穫時期を迎える飼料用とうもろこし，発酵粗飼料用イネを調査したところ，すべて暫定許容値を大きく下回っていることが確認されました。収穫適期に達したほ場では収穫して差し支えありません。

なお，今回採取した場所以外でも調査を行います。その結果，暫定許容値を超えた場合，その地域では収穫又は給与を控えていただきます。

3 測定結果について

裏面のとおり

4 損害賠償について

6月13日にJA宮城中央会，JA及び酪農協等で構成する「JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会」が設立されました。被害を受けた生産者を代表して県協議会が東京電力へ損害賠償を請求します。

粗飼料の放射性物質測定結果について

(1) 採取日

平成23年8月2日(火), 3日(水)

(2) 測定依頼機関

東北大学(宮城県仙台市)

(3) 測定結果について

(単位: ベクレル/kg)

種別	採取場所	放射性ヨウ素 測定値	放射性セシウム 測定値*1
牧草	栗原市	不検出	969
牧草	栗原市	不検出	105
牧草	栗原市	不検出	14
牧草	気仙沼市	不検出	37
牧草	登米市	不検出	8
牧草	石巻市	不検出	12
飼料用とうもろこし	丸森町	不検出	不検出
飼料用とうもろこし	蔵王町	不検出	2
飼料用とうもろこし	涌谷町	不検出	4
飼料用とうもろこし	大崎市	不検出	4
飼料用とうもろこし	東松島市	不検出	11
発酵粗飼料用イネ	大衡村	不検出	不検出
発酵粗飼料用イネ	大和町	不検出	4
発酵粗飼料用イネ	栗原市	不検出	26
発酵粗飼料用イネ	栗原市	不検出	19

※1: 水分補正はしていない

※2: 発酵粗飼料用イネ…子実と茎葉を同時に収穫し発酵させ、牛の飼料とするために栽培されたイネ

【参考】

飼料中の放射性セシウムの暫定許容値(平成23年8月1日設定)

牛, 馬, 豚, 家きん等用飼料中に含まれることが許容される最大値300ベクレル/kg
(粗飼料は水分含有量8割ベース, その他飼料は製品重量)

ただし, 乳用牛(経産牛及び初回交配以降の牛)又は肥育牛以外の牛のうち, 当分の間, と畜出荷することを予定していない牛に給与される粗飼料であって, その生産者自ら生産したもの, 又は, 単一若しくは近隣の複数の市町村内で耕畜連携の取組等により生産したものについては, 例外的に3000ベクレル/kg(水分含有量8割ベース)まで使用を認める。この飼料を摂取した育成牛は, 肥育牛として12ヶ月以上肥育した後にと畜出荷すること。